

Quelle: Special Cars International,
Januar 1995

Fahrbericht: Audi RS2 von MTM



Audi RS2 von MTM



呼吸を持つ33歳になるロラント・メイサーは、大のオーディオ好きで、いつもクルマを愛用していたのだが、持病を患えてコンピューターを学ぶことになった。早くてそれを機に死なないかと知り、リゼンスバーグのエンジニアリングコースに通塾を変えた。85年に卒業した頃、彼は元アウディラリーチームのヘッドであり、クアットロの父でもあるウォルター・トレーザーのチームに加わった。トレーザーは、アウディチューナーの第一人者のひとりで、彼の最も有名なクルマは、ロラント・メイサーも乗ったクアットロ・スバィダーである。

その後、メイサーはアウディの開発部門で働くことになった。「ちょうどその時アウディは、20バルブエンジンを開発しており、私はエンジンとボッシュ・モトロニクシステムについて多くを学びました。」と言う。メイサーはまもなくモトロニクシステムに精通して、独自の空き時間にECUをモディファイするようになった。そして結果として、ドイツのV8チューナー